

2050

美濃加茂市

新庁舎整備 基本構想 策定委員会

がわらばん vol.6

新庁舎基本構想ができるまで(予定)

	2017年												2018年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
委員会	第1回	第2回	第3回				第4回		第5回		第6回				
市民ワークショップ											今回の委員会				
アンケート					全4回										
市長からの諮問事項														基本構想発表	
	①現庁舎の課題整理 ②新庁舎に求められる基本機能 ③新庁舎整備の事業手法及び候補地等の比較分析 ④新庁舎をいかしたまちづくり構想														

基本構想は、委員会だけではなくワークショップやアンケート等市民のみなさんの意見も取り入れて美濃加茂らしいものとしていきます。

第1回～5回の委員会で話し合われた内容をまとめ、みんなで審議しました。

12月5日に行われた第6回委員会では、これまで話し合われた内容をまとめた答申(案)、及び答申書付属参考資料(案)について審議しました。また、最終の委員会ということで、委員一人ひとりの新庁舎整備に対する思いを伝え合いました。



未来はどんどん発展し変化していくので、コンパクトでインテリジェントなものになっていくことを期待しています。



美濃加茂の未来のことを委員のみなさんと考え議論できたことを嬉しく思います。

未来の市役所に求められる機能というのは、人が交流できる場なんだ、ということがわかりました。



若者の意見をしっかり聞いてもらえたことを嬉しく思います。美濃加茂の歴史やまちのことを知れた良い機会でした。



未来の庁舎が、市民みんなが幸せに感じられるようなものになることを期待しています。



いろんな立場の人の意見を聞いてもらえたことを嬉しく思います。

技術の進歩で窓口へ手続きに行く必要がなくなると、よりコミュニケーションを取れる場所が必要になると思います。



市民の意見をしっかり聞いてもらえ、さすが住みよさランキング上位のまちだと思いました。



委員として、未来の庁舎がどのようなべきかを考え、意見できたことを嬉しく思います。



祖父が現庁舎の建設に関わっていたこともあり、わたしも委員として新庁舎整備の基本構想にたずさわれたことを嬉しく思います。

400年前からの美濃加茂の歴史がコンセプト(案)としてあげられたことを嬉しく思います。



新庁舎は30年後、50年後といった先を見越すようなもの、皆が安心して集えるようなものになることを願っています。



答申書の結論だけが一人歩きすることが無いよう、10ヶ月のプロセスがしっかりと込められた計画になると良いです。



はじめは大きいものが必要だと思っていましたが、必要な広さは社会の変化で大きく変わるということがわかりました。

最新情報はこちら

<https://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>

